# 温室効果ガス排出量 Scope 3　算定方法

・算定範囲　株式会社クラレおよび連結子会社66社

・算定対象期間　2025年1月1日～2025年12月31日

GHGプロトコルに基づき策定した当社グループの算定ルールに則り集計、算定しています。集計対象範囲の設定は、GHGプロトコルにおけるオペレーショナルコントロールアプローチに基づいています。

| カテゴリ | 算定方法 |
|---|---|
| 1.購入した製品・サービス | ・「生産のための原材料・資材・サービスの購入量（重量又は金額）×排出係数」で算出した。但し、物質が特定できない場合は「金額×平均排出係数」で算出した。<br>・排出係数は「Managed LCA Content ver.2025.2」(Sphera）または「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベースver3.5」（環境省）を用いた。 |
| 2. 資本財 | 「固定資産の増加額(土地や無形資産など資本財を除く)×排出係数」で算出した。排出係数は「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース ver3.5」（環境省）の値を用いた。 |
| 3. Scope1、2 に含まれない燃料およびエネルギー関連活動 | 「購入電力量×排出係数＋購入熱量×排出係数＋燃料使用量×排出係数」で算出した。排出係数は、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース ver3.5」（環境省）、「AIST-IDEA ver.4.0」（国立研究開発法人　産業技術総合研究所）および「Managed LCA Content ver.2025.2」（Sphera）の値を用いた。 |
| 4. 輸送、配送（上流） | ・原材料調達輸送は品目ごとに「輸送重量×輸送シナリオに基づく距離×輸送シナリオに基づく手段ごとの排出係数」で算出した。排出係数は「Managed LCA Content ver.2025.2」（Sphera）の値を使用した。<br>・製品出荷輸送については以下の陸上輸送と海上輸送を算出した。<br>・陸上輸送のうち、主要地域については、主要地域の出荷データに基づく「重量×距離×排出係数」で算出した。主要地域以外については、上記の主要地域の輸送排出量と出荷輸送コストに基づき、金額単位あたりの地域別排出係数を算出し、「各地域の他の連結会社の出荷輸送コスト×金額単位あたりの地域別排出係数」を乗じて算出した。<br>・海上輸送は「グループ全体の輸送コンテナ数×排出係数」で算出した。排出係数は「How to Calculate and Manage CO2 Emissions from Ocean Transport A Clean Cargo Working Group (CCWG) Guide February 2015」（BSR）を用いた。 |
| 5. 事業から出る廃棄物 | 「廃棄物種類別量×廃棄物種類別排出係数」で算出した。廃棄物種類別排出係数は国内拠点から排出される廃棄物には「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース ver3.5」（環境省）、海外拠点から排出される廃棄物には「Managed LCA Content ver.2025.2」（Sphera）の値を用いた。リサイクル処理量に適用するManaged LCA Contentの排出係数は代表値としてプラスチックリサイクルのデータを用いた。 |
| 6. 出張 | 「従業員数×排出原単位」で算出した。排出係数は「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース ver3.5」（環境省）の値を使用した。 |
| 7. 雇用者の通勤 | 「拠点別従業員数×排出原単位」で算出した。排出原単位は「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース ver3.5」（環境省）の値を用いた。 |

なお、温室効果ガス排出量の定量化は、活動量データの測定、および排出係数の決定に関する不確実性並びに地球温暖化係数の決定に関する科学的不確実性にさらされています。